

第五十回帝國議會
衆議院

治安維持法案(政府提出)委員會議錄(速記)第三回

會議

大正十四年二月二十六日(木曜日)午前
十時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 前田 米藏君

理事 中谷 貞頼君

理事 土屋 興君

理事 吉田 眞策君

理事 本田 義成君

理事 板野 友造君

横山金太郎君

河波荒次郎君

山田 又司君

杉浦 武雄君

原 夫次郎君

熊谷 巖君

山崎達之輔君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 若槻禮次郎君

司法大臣 小川 平吉君

出席政府委員左ノ如シ

內務省警保局長 川崎 卓吉君

司法政務次官 熊谷 直太君

司法省刑事局長 山岡萬之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

治安維持法案(政府提出)

○前田委員長 只今ヨリ治安維持法案

ノ委員會ヲ開キマス、原夫次郎君

○原委員 是マデモ色々政府ノ御答辯

ガアッタノデアリマシテ、成ベク重複ノ
點ヲ避ケル積リデアリマスガ、勢ヒ多
少ノ喰違ヒガアルカモ知レマセヌカ
ラ、其點ハ惡シカラズ御了承ヲ願ヒマ
ス、先ヅ此法案ハ私共カラ見ルト、是ハ
純然タル刑罰法規デアッテ、固ヨリ刑法
ト一體ヲ成スモノ、ヤウニ考ヘルノデ
アリマスガ、政府ハ何故ニ刑法ヲ改正
セズシテ、斯ウ云フ單行法ヲ出シタ
ノデアルカ、他ノ方面カラ申シマスレバ、
是ハ何カ政府ニ於テ一時過渡時代ノ事
柄ヲ處理スル爲ニ、過渡法トシテ斯ウ云
フ單行法ヲ出シタノデアルカ、ドウカ、
先ヅ一應其點カラ御説明ヲ願ヒタイ
○山岡政府委員 刑法ノ中ニ斯ノ如キ
規定ヲ置イテ、ソレニ於テ取締ヲ爲シ
タラ宜カラウト云フ御趣旨ニ承リマス
ガ、此案ノ含シテ居リマス事柄ハ、單純
ナル刑罰規定デナイノデアリマシテ、
即チ一面ニ於キマシテハ今日ノ治安
ヲ保持シ、必要ナル取締ヲ爲スト云フ
コトガ含マレテ居ルノデアリマス、勿
論刑法ノ規定ノ中ニモ、社會ノ秩序ヲ
保持スル爲ニ、取締規定ガナイトハ申
シマセヌガ、之ヲ刑法ヨリ引離シテ規
定スルト云フコトガ寧ロ適當デアリマ
スト同時ニ、原君ノ御承知ノ通りニ、刑
法ノ規定ハ公益ヲ直接ニ侵害スル、斯
ウ云フモノガ刑法ノ實質デアリマス、

單純ナル危險ヲ罰スルト云フコトハ刑
法ノ本質デナイノデアリマシテ、常ニ
刑法ハ公益ノ侵害ト云フコトヲ前提ト
致ス譯デアリマスガ、此案ノ規定スル
所ハ公益ニ直接デナクシテ、即チ公益
ノ侵害ヲ豫防スル、斯ウ云フコトガ刑
法カラ引離シテ斯ノ如キモノニ纏メテ
規定スルヲ最モ適當ナリト信ジマシ
タ
○原委員 刑法ガ公益ヲ侵害スル者ヲ
罰スルコトヲ目的トスルト云フコト
ハ、此本法案モ此點ニ付テハ全然同一
ナモノデアッテ、社會安寧ト云フコトノ
公益ヲ侵害スル者ガアルナラバ罰スル
ト云フ、規定ノ正面ノ解釋ニ考ヘルノ
デアリマスガ、若シ今山岡君ノ言ハレ
ルヤウナ刑罰法規以外ニ、此法案ト云
フモノガ特殊ナル取締ト云フコトヲ目
的トシテ、此法案ヲ規定シタト云フナ
ラバ、其法案ニ依ッテドウ云フ取締ノ方
向ヲ政府ハ目安ト致シテ居ルノデアリ
マスカ
○山岡政府委員 取締ノ目的ト致シマ
ス所ハ、一條ニ示シマス如ク國體、政體
ヲ變革シ、私有財産ヲ否認スルコトヲ
實行セシメナイヤウニ、其處マデ進マ
ナイ所ノ即チソレ等ノ行爲ノ前提トナ
ル結社、協議、煽動、斯ウ云フ事ヲ取締
ラントスル譯デアリマシテ、此點ガ先

刻申上ゲタヤウナ刑法ノ規定ト違ッテ
居ルノデアリマス
○原委員 サウスルト此法案ト云フモ
ノハ、重イ刑罰ヲ規定シテ國民ニ對シ
テ脅威ノ念ヲ齎ラスコト、或ハ鬼面人
ヲ嚇カスト云フヤウナ目的デ規定シタ
モノデアルカ、吾々ノ解スル所ニ依ル
ト、刑法全編ヲ通ジテ何人デアッテモ刑
ハ刑無キニ歸セシムルト云フノガ、刑
ノ本旨デアリマスカラ、泥棒ガアッテモ
人ノ物ヲ取ッテ直グ之ヲ罰スルト云フ
ヨリカ、刑法ノ規定ガアル爲ニ、一面ニ
世間ニ對シテ斯ル奴ガアルカラ泥棒
ヲヤッテハイカヌト戒メルノガ刑法ノ
本旨デアアルガ、國民ノ觀念ニ付テハ此
法案ト刑法トハ全然同一デアルト思フ
ノデアリマス、斯ノ如ク山岡君ノ説明
ノ如クンバ、成程本法案ガ刑罰ヲ非常
ニ重クシタト云フコトハ、罰スルト云
フノデナクシテ、是デ威シ付ケル、是デ
警察ガ取締ヲスル爲ニ大變ナ御利益ヲ
得セシメンガ爲ノ法律デアルト諒解シ
テ宜シイノデアリマスカ
○山岡政府委員 原君ノ先ニ御問ニ
ナッタ二問ハ、法律ノ形式ヲ御問ニナ
タコト、私ハ承知シタノデアリマス、
ソレ故ニ法律ノ形式ノ御答ヲシタ、第
三問ハ實質論デアリマス、實質論ニナ
リマスト自カラ價值ヲ申上ゲナケレバ

ナラヌ、本法案が單ニ國民ヲ威嚇シテ、之ニ依ッテ單純ニ目的ヲ達シヤウト云フ次第デハナイノデアリマス、法ヲ作ッテ國民ヲ教ユルト云フコトハアリマセウケレドモ、法ヲ作ッテ國民ヲ威嚇スルト云フ如キコトハ、今日ノ時代ニ於テ考フベキコトデナイト思フ、即チ必要ガアル場合ニ於テ初メテ規定スルノデアリマス、此法案が威嚇ニ非ズシテ、必要ガアルノデアリマス、即チ國體、政體ヲ現ニ變革スルト云フ思想ガ遺憾ナガラ我國ノ今日ニ現レテ居ル、而シテ私有財産制度ヲ否認スルト云フ思想モ矢張現レテ居ル、此思想ヲ取締ルト云フコトハ申サナイ、思想ハ自由デアリマス、研究ハ全ク自由ニシナクテハナラヌ、ソレ故ニ私有財産ニ關スル所ノ經濟學說ヲ研究スルコトハ敢テ妨ゲナイ、即チ國民ヲシテ能ク知識ヲ得セシメテ、其善惡ヲ判別セシメルヤウニシナケレバナラヌノデアリマス、是故ニ專門ノ學校ニ於ケル所ノ學校ノ研究、若クハ其他ノ學校外ニ於ケル調査、其他ノ關係ヲ一切妨ゲルノデハナイノデアリマス、是等ノ思想ニ基イテ我國ノ今日ノ制度ヲ覆スガ如キ行動ヲ執ルコトハ、今日ニ於テ許スベカラザルモノデアリマスカラ、其行動ヲ取締ル譯デアリマス、即チ單純ニ威嚇スルニ非ズシテ、行爲ガ現レタ場合ニ於テ之ヲ罰スルノデアリマス、其行爲ガ即チ第一條ニ於テ否認、第二條ニ於テ協議、第三條

ニ於テ煽動、斯ウ云フ風ニ單純ナル意ニ非ズシテ、ソレガ皆外部ニ現レタモノハ取締ラナケレバナラヌ、行爲ヲ罰スルガ爲ニ規定致シタ譯デアリマス、而シテ其行爲ハ共同生存上此位ノ刑罰ヲ以テシナケレバナラナイ、斯様ナ譯デアリマシテ、唯、強イ刑ヲ以テ威嚇スルト云フ如キ單純ナ理由デハナイノデアリマス、此點ハドウゾ第一條、第二條ノ御質問ト異ニシテ御了解願ヒタイ

○原委員 今ノ山岡サンノ御説明ハ、結局此法案が刑法ノ規定ト異ニスルト云フ先程ノ御説明ト後ノ御説明ハ違フヤウデアル、是ハ刑罰規定ト違フノダ、成ベク此犯罪ナカラシメルヤウニスル爲デアル、ソレデアルカラ特別ノ單行法ヲ設ケテ刑法ヲ改正シナイノデアルト云フ御話デアッテ何カ、特別ノ取締ノ目的ガ存スルカト言ヘバ、是ハ刑法モ同一デアッテ、刑法ノ規定中ニ例ヘバ内亂ニ關スル犯罪ノコトモアル、是モ取締ノ法律ト言ヘバ法律ニナルノデアリマス、内亂罪ヲ起シテ、ソレヲ處罰スルコトヲ目的トスルモノデナイト、此内亂罪ノ起ル前ニ十分ニ之ヲ豫防スルト云フコトハ、其刑法ノ法律自體ニ於テ憲ニ顯著ナル目的ヲ有シテ居ルモノデア

ルコトガ出來ナイノデアリマスカ、更ニ方面ヲ變ヘテ此點ヲ御説明願ヒタイノデアリマス、是ハドウゾ國務大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイ、一體此法案ノ提出ノ場合ニ於テ、本會議ニ於テ、私ハ此法案ノ所管ハ何レデアルカト云フコトヲ御尋致シタノデアル、所ガ小川國務大臣ハ是ハ司法省ト内務省ト兩省ノ所管デアルト云フ御答辯デアッタ、所デ私ノ先程來ノ考ヲ以テ見マスルト、是ハ純乎タル司法省ノ所管デアルト思フ、司法省ノ官制ニ照シ、内務省ノ官制ニ照シテ、此純乎タル刑罰法規ハ、司法省ノ所管デアルト云フコトハ、司法省ノ官制ニ徵シテ明カデアルト思フノデアリマスガ、然ルニ此法案ハ内務大臣ニ依ッテ提案ノ理由ヲ説明セラレ、而シテ此委員會ノ開會ニ當ッテモ、小川司法大臣ハ内務大臣ガ居ラレナイカラ私カラ此提案ノ理由ヲ説明スルト云フヤウナ、大層御謙遜ナ御話デアッタノデアリマスカ、私ハ決シテ司法大臣ノ健在ヲ疑フモノデハナイ、之ガ若シ出版法デアルトカ、治安警察法デアルトカ、新聞紙法デアルトカ云フ場合ニ於キマシテハ、是等ノ法律ニ關スル法律自體ガ既ニ取締ラスルト云フコトヲ目的トスルガ爲ニ、澤山ナル取締ノ規定ヲ設ケテ居ル、偶、其中ニ於テ犯罪ノ罰則ヲ規定シテ居ル、是等ノモノニ付テハ主務官廳ハ内務省デナケレバナラヌ、司法省モ固ヨリ關係ハアルケレドモ、是ハ附隨ノ

問題デアル、併ナガラ本法案ノ如キニ至ッテハ、第一條カラ全條悉ク取締ノ目的デアルト云フコトガ直接ニ現レテ居ナイノミナラズ、是ハ純乎タル刑罰規定ダケデアル、之ガ司法省ノ所管ニアラズシテ何デアリマセウカ、ソコデ世間傳フル所ニ依ルト、是ハ内務大臣ガ樞密院ニ於テ約束シタ所デアル、普選案ノ如キ、是ハ交換問題ノヤウナ風ニ之ヲ出サレタモノデアル、又樞密院カラ上奏ヲ致シタ場合ニ於テノコトヲ新聞ニ傳ヘテ居ルノデアリマス「普選實施ノ結果、思想ノ惡化ヲ誘致セシムルノ虞アレバ、政府ハ是ガ取締ヲ嚴重ニ爲スベク適當ナル法規ノ制定、施設ヲ爲シ、弊害防遏ニ努メナラヌコト、一層國民教育ノ普及充實ヲ圖ルベク、相當ノ施設ヲ爲シ、國民ノ智育、德育ノ向上ニ努力スベキコト、普選案中ニハ選舉運動制限並選舉運動費制限ノ新制度ヲ採用シテ居ルカラ、之ガ運用上嚴密ニ注意ヲ加ヘ、以テ取締上遺憾無キヲ期スベキコト」ト云フ附帶ノ上奏決議ヲ爲シタト云フコトガ世間ニ發表ニナッテ居ルノデアリマスカ、斯ノ如キ經緯カラ此法案ハ内務省ガ主トシテ之ヲ起草シタモノデアリマセウト思ハレ

ルノデアリマスカ、私ハ以上申述べタコトヲ要約シテ申上ゲマスルト、此法案全部ガ純乎タル刑罰規定ノミデア

ル、所謂刑事ニ關スルモノデアル、司法省ノ官制中ノ刑事ニ關スル全部デア

ル、内務省ノ取締事項ト云フモノニ付
テハ此法文ニハ何等見ルモノガナイ、
ソコデ此法案ノ所管ガ、内務省ト司法
省ノ兩方ノ所管デアルト云フ司法大臣
ノ答辯ノ由テ來ル所ヲ御示シ願ヒ、而
シテ樞密院デ何カ御約束若クハ行掛リ
等ガアル爲デアルト云フコトナラバ、
其點ニ付テ、内務大臣カラモ御答辯ヲ
煩ハシテ置キタイト思ヒマス

○若槻國務大臣 治安維持法ハ司法大
臣、内務大臣ノ兩大臣デ署名シテ提出
シテ居ルノデアリマスカラ、兩省所管
ニ關係ガアルノデアリマス、内務省ダ
ケノモノデナイト同ジク司法省ダケノ
モノデナイトデアリマス、固ヨリ刑罰
法デアリマスカラ、何ト云ウテモ司法
省ガ所管シナケレバナリマセヌガ、結
社ノコト、出版ノコト、總テソレニ關聯
シテ居ルノデアリ、其方面カラハ取締
ル方面モ考ヘナケレバナラヌ、故ニ内
務省モ併セテ之ニ關係センケレバナラ
ヌト云フノデ、兩省ノ所管ノ法案トシ
テ吾々ハ見テ居ルノデアリマス、法律
論ノ詳シイコトハ茲ニ法律ノ專門ノ政
府委員ガ居リマスカラ、其方カラ十分
御答辯ヲ致シマス、唯此法案ガ樞密院
ノ何カ註文ニ依ッテ出テ居ルト云フヤ
ウナ御疑念ガアルラシイノデアリマス
カラ、其點ハ申述ベマスガ、他ノ委員會
ニ於テモサウ云フヤウナ事ヲ申サレタ
人ガアリマスガ、樞密院ノ註文デナイ
ト云フコトノ一番確カナル證據ハ、過

日本議場デモ私申シマシタガ、昨年十
二月ノ二十一、二日ノ頃デアッタカモット
早カッタカモ知レマセヌガ、豫算内示
會ト云フモノヲ開イテ、其豫算ノ内示
會ノトキニ、政友本黨ノ松田源治君ガ
治安維持法ヲ議會ニ提出スルヤ否ヤト
質問セラタレ其時ニ於テ、私ハ治安維持
法ハ第五十議會ニ必ズ提出スル積リデア
ルト云フ答辯ヲシテ居ルノデアリマス、其
時ハマダ衆議院議員選舉法ノ審査ト云
フモノハ、樞密院ニ於テハ始メテ居ナ
イ時デアリマス、樞密院ガ選舉法ノ審
査ヲ始メル前ニ、既ニ政府ガ此法案ヲ
議會ニ提出スル考デアルト云フ決心ヲ
語ッテ居ル、其事實ハ明ニ樞密院ノ註文
ナドデ是ガ出タモノデナイト云フコト
ヲ證明シテ居ルト申サンケレバナラヌ
ノデアリマス、只今樞密院ガ上奏シタ
コトガアルノデアアッテ、其中ニ斯ウ斯ウ
云フコトガアルト云フコトガアリマス
ガ、樞密院ノ上奏ガ公ニナッテ居ルモノ
デアリマススカ、ドウデアリマススカ、私ハ
能ク承知致シマセヌ、ソレ故ニ樞密院
ガ如何ナルコトヲ上奏シタカト云フコ
トヲ此所デ説明スルコトハ出來マセヌ
ガ、假ニ樞密院ノ上奏ノ中ニ普通選舉ト
云フモノヲ實行スルト共ニ、何等カノ取
締規定ヲ設クル必要ガアルト云フヤウ
ナ意味ガアッタトシテモ、ソレハ樞密院
ノ意見デアリマス政府ノ關スル限デハ
ナイ、政府ハ治安維持法ノ制定ナルモノ
ハ、普通選舉ノ實行トハ何等關係ハナイ

ノデアアル、治安維持法ハ治安ヲ維持スル
必要ノ爲ニ提出シタノデアアッテ、選舉法ヲ
改正スル事柄トハ何等關聯ノナイ事デ
アリマス其關聯ノナイ問題ノ爲ニ樞密
院カラ強要セラレテ、治安維持法ヲ提出
スルナント云フ事ノナイト云フコトハ常
識ヲ以テ御判斷ニナッたら大抵分リソウ
ナ事デアリマス、是ダケ御答辯致シマス
○小川國務大臣 段々此治安維持法ヲ
出サナケレバナラナイ必要ニ日本ハ
今日ノ現狀ガ迫ラレテ居ルト云フコト
ニ付テ、疑念ヲ懷カレル人々ガアルト
見エルトデ、只今ノ原君ノ御問ノ如ク、
樞密院カラ強要セラレテ出シタノデハ
ナイカト云フ風ノ質問ガ他ノ委員會ニ
於テモ度々起ッテ居リマス、是ハ一面ニ
於テ先般本會議並ニ委員會ニ於テモ申
上ゲマシタ如ク、我國ニ於テモ近來無
政府主義、共產主義ヲ實行シヤウトス
ル者ガ段々ト出テ參ラタト云フ此事實
ヲ十分ニ申上ゲテ置カナイガ故ニ、其
必要ガ認メラレナイノデハナイカト考
ヘテ居ルノデアリマス、是ハ先般來申
上ゲマシタ通り、秘密會デモ開カレマ
シタナラバ、其席ニ於テモ今日マデ我
國ニ於テ起ッタ所ノ出來事ノ中、檢察官
ノ手ニ檢舉セラレタ分ダケノ事ヲ御話
ヲ申上ゲタイ考ヘデ居ッタノデアリマ
ス、併ナガラ今日マデ其機會ヲ得マセ
ヌデシタ、然ルニ只今又其事ノ御質問
ガアリマシタカラ、茲ニ其事例ノ中、二
三ヲ申上ゲル方ガ宜カラウト思ヒマス、

之ヲ茲ニ申上ゲヤウト思フ、先般委員
會ノ當初ニ於テ私モ一寸申上ゲテ置イ
タノデアリマスガ、是ハ大體世間ニ於
テモ既ニ分ッテ居ルノデアリマス、即チ
曉民共產黨ト云フモノガアル、大正十
年ノ八月頃東京ノ四谷ニ於テ近藤榮藏
高津正道、外數名ニ依ッテ組織セラレタ
秘密結社デアアル、而シテ宣傳部、出版部、
調查部、會計部ナドト云フ部署ヲ定メ
テ居リマシテ、其目的トスル所ハ即チ
共產主義ノ實行デアリマス、是ハ支那
並ニ朝鮮ニ於ケル共產黨ト提携ヲ致シ
マシテ、サウシテ其目的ヲ達シヤウト
シテ居ッタ、大正十年十月ニ支那人、張
太羅ナル者ガ第三「インターナショナル」
ノ「秘密使」トシテ日本ニ參リマシテ、近
藤榮藏等ト會合致シマシテ、第三「イン
ターナショナル」ノ大會ニ日本ノ代表ヲ
派遣センコトヲ促シマシテ、金二千圓ヲ交
付致シ、之ニ依ッテ我國ヨリモ數名ノ共產
主義者ガ當時露西亞ニ參ッタ、而シテ同
年十一月十二日ノ夜ニ全國主要ノ都市
ニ一齊ニ共產主義宣傳ノ澤山ナ「ボスタ
ー」ヲ貼付ケマシテ、同月中、又近藤榮
藏ハ重田要一ナル者ヲ上海ニ遣シマシ
テ、同地ノ共產黨員ニ對シテ宣傳費ヲ
要求シマシタ、其結果同月下旬ニ露國
共產黨員ノ「ビー、グレート」ガ宣傳費
七千圓ヲ持ッテ參ッタ、幸ニシテ是ハ官
憲ノ爲ニ探知セラレマシタノデ、退去
命令ヲ發セラレテ歸ッテシマヒマシタ、
次イデ同月二十一日ニ關東ノ陸軍大演

習ノ際ニ「軍人諸君」ト題シ又ハ「軍人諸君、兄弟ヨ」ト題シテ共產主義ヲ記載シタル所ノ宣傳ヲ致シマシテ、是ハ軍備ノ制度ヲ破壊セントスル所ノ趣意ヲ書イタモノヲ配ツタノデアリマス、此事件ハ幸ニシテ檢舉セラレマシテ大正十年十二月二日ニ治安警察法違反トシテ起訴サレマシテ、禁錮八箇月ニ處セラレタノデアリマス、之ガ斯ウ云フ罪デアリマスケレドモ、今日ノ法律トシテハ治安警察法ニ依ッテ罰スルヨリ外致方ガナイノデアリマス、隨ッテ禁錮八箇月ト云フ位ノ刑ニナツテ居ルノデアリマス、此事件ガ斯ノ如クニ檢舉サレテ裁判ニ附セラレテ居リマスル間ニ、一方ニ於テハ最モ恐ルベキ立派ナ日本共產黨ト云フモノガ出來タノデアリマス、是ハ大正十一年ノ十二月中、共產主義者ノ元早稻田大學ノ講師佐野學、山川均、堺利彥等、七名ニ依ッテ初メテ組織セラレタ、而シテ大正十二年三月頃マデノ間ニ、我國ニ於ケル實行的共產主義者ノ主ナル人物三十餘名ヲ網羅致シマシテ、而シテ之ヲ組織致シタ、此日本共產黨ノ組織、主義、政策ハ全ク露西亞ノ共產黨ノソレニ則ッテ出來テ居リマス、露西亞ノ共產黨ト聯絡ヲ保ッテ共產主義ヲ實行シヤウト云フノデアアル、其ヤリ方ハ先般青木君ヨリモ一寸御質問ノ際ニ述ベラレタヤウニ、黨員十名ヲ以テ細胞ト云フモノヲ設ケテ——コチラデハ細胞ト云フ言葉ヲ使ッテ居

ルヤウデアリマス、各細胞ニハ一ツノ代表者ヲ置イテ、代表委員會ト云フモノハ又十名ノ執行委員ト云フモノヲ選任ヲ致シテ、ソレト總テノ部門ヲ定メテ政治、労働、教育、雜誌、農民、婦人、救済ナド、云フ各種ノ部門ヲ定メ、運動者ヲ拵ヘマシテ、サウシテ此主義ノ實行ヲシヤウトシテ居ル、細カイ事ハ餘リ申上ゲマセヌガ、大體其様ナヤリ方デ以テ黨ガ出來テ、サウシテ共產主義ノ實行ニ著手シテ居ル、大正十二年十二月千葉縣ノ某所ニ於テ黨ノ幹部ト只今申上ゲタ細胞ノ代表委員ト云フ者ノ第一回總會ヲ開カレマシタ、而シテ絕對秘密ノ間ニソレト係リヲ定メマシテ政治係、農民係、或ハ雜誌係、労働係、ソレカラ教育係ト云フ者モアル、教育係ト云フノニハ早稻田ノ元ノ講師ノ佐野學ナル者ガ其任ニ當ッテ居リマス、佐野學ハ早稻田大學講師竝ニ日本鐵夫總聯合會ノ顧問ト云フコトヲシテ居ル、サウシテ其地位ヲ利用シテ青年ノ學生又ハ鑛山ノ労働者ノ方面ニ此共產主義ヲ非常ニ宣傳シ、又煽動シテ居ル、ソレカラ黨員ノ山本懸藏、野坂參貳ナド、云フ者ハ關東鐵工組合ト云フモノニ關係ガアリマスカラ、此組合方面ニ働ヲ致ス、斯ウ云フ風ニ其他渡邊滿三ト云フ者ハ時計ノ職工ノ組合方面ニ手ヲ出ス、更ニ既ニ世間ニモ知レテ居リマス、猪股津南雄、是ハ早稻田大學ノ講師デアリマス、此地位ヲ利

用シテ雜誌又ハ講演等ニ於テ頻ニ主義ノ宣傳ヲ致シテ居リマシタ、サウシテ同年三月中旬ニ至リマシテハ、時計工、印刷工、出版從業員等ノ各種ノ労働者ノ組合竝ニ學生ノ間ニ細胞ガ十四アツテ、細胞委員五十八名ト云フモノガ出來ルヤウニナツタ、一方ニ於テハ又此黨員德田球一、高瀬清、山本懸藏、川田唯彥等ハ、相次デ露西亞ニ參リマシテ、共產黨ト聯絡ヲ取リマシテ、同年三月十五日ニ堺利彥外二十二名ハ東京府北豐島石神井ノ料理店豐島館内デ、他人ノ出入ヲ嚴禁シテ密議ヲ凝シ、サウシテ茲ニ黨規黨則ノ起草ヲ致シマシテ、又莫斯科ニ派遣スベキ代表者ノ選定ヲ致シ、政黨組織ノ事等ヲ相談シ、又露西亞ノ第一革命及ビ第二革命ヲ我國ニ實現スベキ方法時期等ニ付テ密議ヲ凝シテ、爾來著々黨ノ發展ヲ圖ルト共ニ、各地方ニ向ッテ此主義ヲ宣傳スルコトニ努メマシタ、其結果——是等ハ又秘密會等ノ場合ニ申上ゲルコトモアルカモ知レマセヌガ、群馬縣方面トカ名古屋ノ方面、或ハ長野ノ方面等ニ秘密結社ガ出來マシテ、當時新聞紙上デ詳シク報道サレマシタカラ大抵ハ御承知ノコトデアリマスガ、其一例トシテ京阪地方ニモ秘密結社ガ出來マシテ、サウシテ此ノ中央ノ指揮ニ依ッテ共產黨ノ實行ニ著手スルコトニナツテ居ッタノデアリマス、又大正十二年五月下旬、偶々東京ノ巢鴨ニ住ンデ居ル部下ノ坑

夫澁谷全次郎方ニ於テ、偶々日本共產黨ニ關スル秘密書類ガ發見セラレマシテ、其結果大正十三年一月十九日ニ至ルマデノ間ニ、前申上ゲタ通りノ被告八三十名ト云フモノヲ檢舉シテ、之ヲ拘禁致シタノデアリマス、ソレガ斯様ニ恐ルベキ働キヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ幸ニ檢舉ニナツテ居リマス、又ソレカラ地方ニ擴ッテ分モ段々檢舉サレテ居リマスケレドモ、併ナガラ絕對秘密ニ行動シテ居リマスルカラ、未ダ檢舉セラレザル者ガ何ノ位アルカト云フコトハ茲ニ想像スルコトハ出來ナイノデアリマス、或ハマダ外ニモアルノデハナイカト云フコトハ凡ソ想像ガ付キマスルガ、政府トシテハ嚴重ニ此共產主義者等ガ段々ト手ヲ擴ゲテ行クコトニ付テハ豫防モ致シテ居リマスルシ、搜索モ十分ニ致シテ居リマス、既ニ檢舉セラレタ最モ恐ルベキ分ノ一二ヲ申上ゲマス、ト、斯様ナコトニナツテ居ル、其外ニモ多々アリマスガ、餘リ諱クナリマスルカラ簡單ナモノヲ申上ゲテ他ハ省略ヲ致シテ置キマス、ソレカラ之ガ即チ結社ヲ致シテ實行ニ著手シタノデアリマス、更ニ申上ゲテ置キタイト思フノハ、文書ヲ以テ此共產主義或ハ無政府主義ヲ實行スルコトヲ煽動シテ居ル者、之ガ中中恐ルベキモノデアリマシテ、是ハ隨分澤山アリマス、然ルニ政府ノ手デ檢舉シテ處分ヲ致シタモノガ、是モ矢

張洵ニ輕イ判罰ヲ科スル外ナイノデ、新聞紙法デアルトカ、出版法デアルトカ云フモノニ依ッテ罰スル外ナイノデアリマシテ、此恐ルベキ犯罪ヲ相當ナル刑罰ニ科スルコトガ出來ナイノデアリマス、其二三ノ例ヲ申上ゲマス、雜誌「社會主義」ト云フモノニ斯ウ云フコトガ書イテアル、「吾々ハ勞働ニ服スル全世界ノ男女ガ、共產黨ノ旗幟ノ下ニ團結スベク既ニ劈頭ノ大勝ヲ收メタ、此徽章ノ下ニ團結スベク從テ止マナイ、世界各國ノ無産階級ヨ帝國主義ノ暴逆ノ下ニ反抗シテ團結セヨ、王權ニ反抗シ特權ニ反抗シ「ブルジョア」ノ國家ト「ブルジョア」ノ財産ニ反抗シ、一切ノ社會的國家的壓制ニ反抗シテ團結セヨ」斯様ニ書イテアル、是ハ大正十一年ノ一月ニ判決ニナッテ居ル、是ハ禁錮二箇月、新聞紙法ノ秩序紊亂ト云フコトデ罰セラレタ、ソレカラ又「借家人新聞」ト云フモノガアル、是ニハ「吾ガ眞ニ幸福ナ生活ヲ得ヤウトスルナラバ、唯、現在ノ資本主義ノ社會ヲ〇〇シテ社會主義ノ社會ト爲スト云フ社會〇〇ニ依ッテノ目的ヲ達シ得ルコトガ出來ル」是等ハ罰金八十圓ト云フコトニナッテ居リマス、又「麵麴」略取」ト云フ出版物ガアル「現時ノ如ク小數者ノ私有ヲ許サズ、之ヲ共有財産トセザルベカラズ、之ガ爲メ革命ニ依リ實物ヲ直接ニ占有シ、社會ヲ共產制、且無政府主義ニ依リ組織セザルベカラズ」是ハ共

産主義ト無政府主義ト兩方書イテアルノデアリマス、モウ一ツニツ中上ゲテ置キマス、是ハ新聞紙「ナロオド」所載「隣國ニテハ既ニ勝鬨ヲ揚ゲタリ、而シテ我等ガ之ニ呼應スルコトノ遅キヲ笑フ、一舉ニ資本主義ノ社會制度ヲ倒壊スベク戰鬪ヲ開始スルノ時機到來セリ、勝利ノ地ニテ一投足ノ勞ノミ、鍬ヲ捨テヨ「ハンマー」ヲ擲テ筆硯ヲ折レ未來ノ事ハ後ニテ考フベシ、今ハ唯戰アルノミ君ハ敵カ味方カ答ガ無イ、ソレナラバ敵ガ階級戰爭ニ於テ灰色ノ態度ハ斷ジテ許サレヌ、灰色中腰連ヲ一括シテ敵ト看做ス、今直グ革命戰ニ參加シテ身命ヲ抛ツ者ノミガ味方ダ」云々是ハ罰金五十圓ニナッテ居ル、又斯ウ云フ事ガアル、是ハ少シ立派ナ文デアアル、信濃時事「諸君ハ吾々ト同様政治及經濟ノ自由ヲ得ンガ爲、國家主義ノ全廢サレシコトヲ希望スルデアラウ、國家主義ノ改廢ハ權力ノ改廢ヲ意味シ、資本主義ノ改廢ハ私有財産制度ノ改廢ヲ意味スルデアアル、吾々ハ權力ナキ社會、私有財産ナキ社會ヲ實現スル爲闘ハントスルモノデアアル、或モノハ之ヲ空想ト云フガ、之ヲロニスル人ハ人間社會ノ幸福ヲ知り能ハヌ者デアアル、吾々ハ理想社會ノ實現ノ爲ニハ暴行ヲ破壞ヲ認メヌ譯ニハ行カヌ」中略「文化國ノ大ナル富ハ過去ノ人及現在ノ人ミノ勞働ノ成果デアアル、此富ハ吾々及祖先ノ爲シタ

ル富ナレバ、此富ハ總テノ人間ニ屬スルノガ正當ダト云フ理由アルニ拘ラズ、吾々ハ之ニ對シ最モ少サイ要求スラ許サレテ居ナイ、萬人ニ屬スベキ此富ヲ少數者ニ壟斷スルコトヲ許サレテ居ルノガ私有財産制度デアアル、之ヲ立派ナ制度ダト誰カ言フデアラウ、諸君ハ私有財産ナク富ハ各人ノ要求ニ因ッテ分配シ、以テ幸福ナル生活ヲ爲シ得ル共產社會ノ實現ヲ希望スルデアラウ」云々ト云フコトガアル、是ハ禁錮三箇月罰金五十圓ニナッテ居ル、斯ウ云フノガ澤山アルノデアリマス、既ニ罰セラレタマア一例ヲ申シマスルト斯ウ云フ風ナコトヲ盛ニヤッテ居ル、所ガ現在ノ儘デハ如何トモ此危險ナル行爲ヲ罰スル方法ガ無イト云フ狀態デアリマス、デ今日此儘デ行キマスと云フト、益々此今ノ煽動ト云フコトノ運動モ殖エテ行クカト思フ、又ハ恐ルベキ共產黨ノ結社、所謂細胞ト云フヤウナ風ノモノモ段々ト殖エテ行クノデハナイカト思フ、併シ如何ニ研究致シマシテモ、之ニ對シテ相當ナ刑罰ヲ加ヘルコトガ出來ナイト云フ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、茲ニ取敢ズ二、三ノ實例ヲ申上ゲタ次第デアリマス

○原委員「只今司法大臣カラ色々御述ニナリマシタガ、前觸レガ秘密會ノ事項デアリマシタガ、本會ニ對シテ能ク材料ヲ提供シ下サッタコトヲ感謝スルノデアリマス、彼ノ列舉セラレタヤウナ事案ガ、多クハ此治安警察法ノ罰則デ、所謂極刑ヲ科シテ居ナイ、輕イ範圍内ニ於テ輕イ罰則ヲ附シテ居ル、洵ニ是ハ善イコトデアアル、コンナ嚴罰ヲ拵ヘナクテモ宜イ事例ニ該當スル材料ト思フノデアリマス、ソレカラ又只今御述ニナリマシタヤウナ事例ガアルカラ、煽動デ罰シナケレバナラヌト云フ御議論ニ至ッテハ、洵ニ驚入ッタ話デ、ア、云フ記事ガ總テ本法ノ煽動ノ中ニ入ルト云フ適例デアルトスルナラバ、是ハ後ニ至ッテ此點ニ付テ御尋ヲシタイト思フノデアリマス、私ハマダ内容ニ入ラナイ中、先刻御質問ヲ致シテマダ司法大臣カラ御答辯ヲ得マセヌガ、詰リ本案ノ所管ハ我官制上カラ云フト司法大臣ノ所管ニ屬スルモノト解釋シテ居ルノデアリマス、先刻御尋シタ官制上ノ理由ニ基キ、所管ニ付テノ御答辯ヲ更ニ御願スルノデアリマス、尙又內務大臣ハ前ノ御答辯ニ依ルト、本法デハ、刑罰規定ヲシテ居ルケレドモ、其刑罰規定ノ目的タルヤ、第一條ノ如キ結社ト云フ文字ガアル、結社ト云フコトヲ爲シタコトヲ罰スルノデアアルカラ、是ハ內務省ノ關係デアルト云フヤウナ御答辯デアッタノデスガ、本法デ結社ト云フコトヲ罰スルト云フ罰則ヲ設ケタ爲ニ、內務省ノ所管ニナルト云フノハ、何所カラサウ云フコトヲ仰シヤルノデアリマス、カ、內務省ノ官制ニハ

無論警察一般ノ事項ヲ掌ル、警察ハ固ヨリ行政警察モアリ司法警察モアル

テ出スコトニ付テ、大抵御理解ガアルコトデアラウト思ヒマス

タカモ知レヌ、又裁判官ガ治安警察法ノ適用ノ見地ニ立ッテ罰スル時分ニ、此

關係ヲ有スル、此問題ハ——即チ本案ニ付テハ内務大臣ハ主動的ニナッテ非

ガ、此方面ノ職務ト云フモノハ、是ハ司法警察トシテ檢事ノ指揮ヲ受ケ、所管

○小川國務大臣 所管ニ關スル答辯ハ内務大臣ノ申上ゲタ通りデアリマス、

事件ノミノ行爲ヲ調べテ行ケバ、重ク罰スル譯ニハ行カナイ、新聞紙法モサ

シテ取締ノ方面カラノ關係デアアル、所ガ本案ヲ見ルト刑罰ガ世間デ異口同音

ハ内務大臣ガ非常ニ御骨折デ、本案ノ立案モ主トシテ内務省ガ立案シタト云

程皆輕クナッテ居ル、輕クナッテ居ルハ新聞紙法デ秩序紊亂トシテ此事ダケヲ

返ス、此目的ガ段々ニ實行ノ域ニ進ンデ擴ガッテシマッタナラバ、手ノ下シヤウ

ウ云フ法案ヲ利用セラレテ、鬼面人ヲ嚇スト云フヤウナ法案ノ立方デナイカ

シテ大分反對ガアッタ、ソレガ爲ニ到頭閣議デ兩大臣ガ御相談ニナッテ、斯ウ云

罰スルト云フコトニナレバ、ドウシテモサウ重ク罰スル譯ニハイカヌ、治安

ガナイ、愈之ヲ實行スルト云フコトニナッタナラバ、内亂ガ起ッテ軍隊モ警察

警察官ヲ指揮スル法規上權能ヲ持ッテ居ルノデアアル、隨テ此法案其モノハ司

ソレデ今日司法省ノ政府委員ヲ引ッ張リ出シテ答辯ヲセヨト云フノハ慘酷ナ

ノ上カラ見テ裁判官ガ公平ニ之ヲ罰スレバ、ドウシテモ重イ極刑ニ處スルコ

義、無政府主義ト云フモノハ一種特別ノモノデアッテ、未然ニ於テ之ヲ讖ッテ

シ、司法省ノ所管デアアラネバナラスト私ハ思フノデアリマスガ、之ヲ内務省

遣方ダト思フノデアリマスガ、主トシテ兩大臣ニ伺ヒタイノハ、此法案ハ勅

トガ出來ナイ、直接此事件其者デ直接ドノ位害ガアルカト云ヘバ、是レ以上

ノ事件、單純ナ新聞紙法ニ於ケル秩序バ伐レナイ、單純ナ治安警察ニ違反シ

タ事件、單純ナ新聞紙法ニ於ケル秩序案亂ト云フ所カラ見マスレバ、モットヒ

案ニナッテ居ルガ、是ハ總理大臣ト司法大臣トノ所管デアルト思フノデアリマ

セラレヌノデス、ケレドモ之ヲ抛ッテ置イテ、其結果ガ進ンデ行ッたら

ドウナルカト云フト、國家ト云フモノハ根本カラ壞シテシマフ、社會組

織ガ根本カラ壞レテシマフカラ、其未ダ擴ガラザルニ當ッテ、特別ニ罰シヤウ

トハ内容ガ違ッテ居リマス、併ナガラ法律ノ大體ノ規定ノ仕方ハ似寄ッテ居

ル、之ヲ後ニ至ッテ棄テ、置ケバ國家ヲ壞シテシマフ、國體ヲ壞シテシマフ虞

ガアル、此様ナコトヲ言ッテ演說シタト云フ之ガ或ハ三十年五十年前ノ日本

デアッタナラバ何デモナイカモ知レヌ、罰金モ五十圓ノモノガ十圓位デ宜カッ

○若槻國務大臣 内務大臣ガ此法律案ニ關係ガアルコトハ前述ベタ通りデア

リマス、本案ハ過激社會運動取締法案トハ内容ガ違ッテ居リマス、併ナガラ法

律ノ大體ノ規定ノ仕方ハ似寄ッテ居ル、之ヲ後ニ至ッテ棄テ、置ケバ國家ヲ

壞シテシマフ、國體ヲ壞シテシマフ虞ガアル、此様ナコトヲ言ッテ演說シタト

取締法案ト云フモノハ、當時原君ナドモ御承知デアッタラウト思ヒマスガ、矢

張司法省内務省共ニ署名シテ出シテ居ルノデアリマス、之ニ付テ御理解ガア

レバ、本案ニ付テ司法内務共ニ署名シ

テ出スコトニ付テ、大抵御理解ガアルコトデアラウト思ヒマス

○小川國務大臣 所管ニ關スル答辯ハ内務大臣ノ申上ゲタ通りデアリマス、

テ、原君ノ御話デハ是等ノ事件ニ對スル刑罰ガ、治安警察デモ新聞紙法デモ

極刑ニ處シテ居ナイデハナカイト云フ御尋、是ハ好イ所ニ御氣ガ付カレタ、成

程皆輕クナッテ居ル、輕クナッテ居ルハ新聞紙法デ秩序紊亂トシテ此事ダケヲ

罰スルト云フコトニナレバ、ドウシテモサウ重ク罰スル譯ニハイカヌ、治安

警察、警察ノ方デモサウデス、治安警察ノ上カラ見テ裁判官ガ公平ニ之ヲ罰ス

レバ、ドウシテモ重イ極刑ニ處スルコトガ出來ナイ、直接此事件其者デ直接

ドノ位害ガアルカト云ヘバ、是レ以上ノ事件、單純ナ新聞紙法ニ於ケル秩序

案ニナッテ居ルガ、是ハ總理大臣ト司法大臣トノ所管デアルト思フノデアリマ

ス、此點ニ就テ先ヅ内務大臣カラ次ニ司法大臣カラ御答辯ヲ得タイ

○若槻國務大臣 内務大臣ガ此法律案ニ關係ガアルコトハ前述ベタ通りデア

リマス、本案ハ過激社會運動取締法案トハ内容ガ違ッテ居リマス、併ナガラ法

官ガ事前ニ於テ此犯罪ヲ豫防スル、嗅付ケルト云フヤウナ場合ハ、是ハ司法警察官トシテ當然ノ任務デアツテ、何モ此法案其モノニ付テ特段ニ内務省所管デアルト云フコトニ付テ、私共官制上了解ガ出来ナイノデアリマス、此點ニ付テ官制上カラ内務省所管デアルト云フコトノ一ツ御説明ヲ司法大臣ニ願ヒタイノデアリマス

○小川國務大臣 官制ノ上カラ内務省ハ、結社トカ、出版トカ云フコトニ關係ガアリマスカラ、内務省ト兩方ノ所管ニシタノデ、意見ガ善イトカ惡イトカ云フ御議論ハ、意見ノ相違デスカラ如何トモ致方ガナイ

○星島委員 私ハ本會議竝ニ委員會ニ於キマシテ、本法第一條ニアル國體ノ變革、或ハ政體ノ變革、私有財産制度ノ否認ト云フヤウナ事ガ、無政府主義竝ニ共產主義防遏ノ爲デアルト云フ風ニ若槻國務大臣ヨリ伺ツタノデアリマスルガ、是ハ甚ダ重要ナル點デアリマスカラ、更メテ一體政府當局者ハ無政府主義、共產主義、之ニ對シマシテドウ云フ御見解ヲ持ツテ居ラレカ、詰リ言換ヘレバ今日政府當局者ノ考ヘテ居ラレル所ノ無政府主義、共產主義ニ關スル定義如何、之ヲ先ヅ研究シテ行カナケレバ、本法ノ研究ニ付テ將來誤解ヲ生ズルト思ヒマスカラ、先ヅ第一問トシマシテ之ニ付テ御回答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○若槻國務大臣 本會議ニ於テ無政府主義ト云フ言葉ヲ使ヒマシタトキニハ、之ニ御斷リガ加ヘテアルノデアリマス、本法案ニハ無政府主義ト云フ言葉ハ使ツテナイ、國體若クハ政體ヲ變革スルト云フ言葉ガ使ツテアツテ、無政府主義ト云フ言葉ハ使ツテナイ、使ハナイ方ガ相當デアアル、法文トシテハ今ノ提出セラレタ法文ニ書イテアルノガ相當デアアル、唯之ヲ俗ニ申シテ居ル所ノ言葉デ、大體下ノ分ニ當ルカト云ヘバ、國體若クハ政體ヲ變革スルト云フノハ無政府主義ヲ主張スル所ニ略々當ル、ソレカラ私有財産制度ノ否認ト云フコトハ、共產主義ト云フコトニ略々當ルノデ、其無政府主義、共產主義ト云フコトヲ我國ニ於テ實行シヤウト試ミルト云フコトハ、甚ダ國ノ治安ヲ害スル事デアアルカラ、是ハドウシテモ禁壓シナケレバナラナイ、併シ法文トシテハ無政府主義ハイケヌ、共產主義ハイケヌト書イタノデハ言葉ガ明確デナイ、故ニ、國體若クハ政體ヲ變革スル、私有財産制度ヲ否認スルト云フ言葉ヲ用キナケレバナラスノデ、本法ノ如ク致シテアル、ケレドモ極ク俗解リニナルヤウニ説明スルト云フト、上ノ方ハ無政府主義、下ノ方ハ共產主義ト云フ意味デアリマス、斯ウ申上ゲタノデアリマス、而シテ私が無政府主義ト云ツテ大體考ヘテ居リマスノハ、詰リ中心ニ於テ統一セラレタルト云ヒマセウカ、或ハ法規ニ依ツテ定メラレタル當事者ニ付テ、今日露國ニ於テ實見シテ居ルガ如キ多數ノ者ノ唯協議デ以テヤツテ行クト云フヤウナ政策デアツテ、政府ノ存在ヲ認メナイト云フヤウナモノヲ指シテ、今日無政府主義ト云ツテ居ルヤウデアリマスカラ、俗ニサウ云フモノガイケナイノデアアル、斯ウ云フ意味デ御斷リヲシナガラ無政府主義ト云フ言葉ヲ使ツタ次第デアリマス

○星島委員 實ハ其程度ノ御答辯デアラウト思ツタノデアリマスガ、若槻內務大臣ハ中々御言葉廻シガウマイモノデスカラ、私共御答辯ヲ聽クト參ツテシマフノデアリマス、私共所謂俗ニ無政府主義者、共產主義者、斯ウ云フ言葉、モウ其言葉ヲ聽イテ國民ト云フモノハ一種ノ戰慄、脅威ヲ感ズルノデアリマサガ、其内容はハ政府委員デ結構デゴザイマスカラ、ドウゾ其席デ今日政府當局ガ所謂無政府主義トハ斯ウ云フモノダ、共產主義トハ斯ウ云フモノダト云フ工合ニ、簡單ナ定義、ソレハ殊ニ裁判所當局ガドウ云フ風ニ一體考ヘテ居ラレカト云フコトヲ實ハ御聽キシタイノデアリマス、出来マスレバ政府委員ノ方デ結構デゴザイマスカラ、此事ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○山岡政府委員 無政府主義ト申シマス、共產主義ト共ニ色々説ガ岐レマス、殊ニ共產主義ニナレバ一層學者ニ依ツテ變ツテ居リマス、此故ニ法文ニ唯無政府主義、共產主義ト書イテ見タ所デ、ソレデハ實質ハ決シテ現レヌノデアリマス、裁判官ガ之ヲ適用シナイトシテモ、是ハムヅカシイノデアアル、唯御問ヒノ點ニハ未ダ直接ニ觸レマセヌガ、モウ少シ申上ゲタイノハ外國ノ立法例ニ依リマス、無政府主義ヲ目的トシテ云云ト云フ規定ガアリマス、是ハデス、其規定デ宜シイノハ行為ノ方ノ側ニ全ク別ナ事ヲ書イテアル、全然違ツテ居ル、例ヘバ或犯罪ヲスル、若クハ其他無政府主義ト全然違ツタ事ガ書イテアル、所ガ本法ノ組織ニ於キマシテハ、第二條以下ニ於テハ第一條ノ事項ヲ實行シ、煽動スルト云フ風ニ書キ現シテアル、四條ニ入ツテ初メテ其目的トスル所ト行フ行為ト違ツテ居リマス、斯ウ云フ風ニ四條ノ書キ方デ行キマス、或ハ無政府主義ノ目的ヲ以テ是デモ濟ムノデアリマス、何故カト云フト無政府主義ト申シマスレバ、最モ極端ナ誰モ異存ナイ所ハ、國憲ヲ全然否定シテ法律ノ支配ト云フモノカラ超脱スル、斯ウナレバ無政府主義デアアルノデアリマス、其極端ナル所ガ——即チ全部ノ中ニ極端ガ含ンデ居リマス、其目的ヲ以テ犯罪ヲ煽動スル、斯ウ云フ事ニナリマス、レバ、裁判官ニ明瞭ニ適用ガ出来マス、所ガ行為自體ノ方デ、其部分ハ無政府主義ヲ實行シナイモノカト云フト、斯様ノ事ハ分ラナイ、即チ極端ナ所ハ法律ノ支配カラ超越シ、國憲ヲ超越シテシマフ、斯ウ云フノデア

リマスケレドモ、之ヲモット具體化シテ行キマス云フト、無政府主義ニ付テハ今日ノ法令ヲ否定スル、サウスルト法令ハ御承知ノ如クニ實ニ澤山ノモノデ、法令類纂ニモアノ位ニ澤山アル、サウスルト之ヲ皆否定スルト云フコトニナル、是ノ關係ハ皆廣イ意味ニ於テ牽聯シテ來マス、サウスルトドウモ適用ノ範圍ガ分ラナクナツテシマウ、此法ニシマスト是故ニ此處ニハ國體ヲ變革スル、政體ヲ變革スル、無政府主義ノ最モ極端ナルモノデケテ現ハシマシテ、其事柄ヲ二條以下ニ於テ實行セントスル者ダケヲ罰スル、茲ニ於テ初メテ裁判官ハ適用ガ出來ルノデアリマス、ソレト同ジニ私有財産制度ヲ否認スル、是モ同様ナ觀念デアリマシテ、共產主義ト申シマスレバ之ニモ色々ノ差ガアリマス、アリマスノガ矢張共產主義ノ極端ナル者ハ無政府共產ニモナルノデアリマスカラ、總テノ人ノ支配カラ脱シテサウシテ、經濟關係ヲ凌駕シテシマツテ、而モ誰モ所有權ヲ持タズ、而シテ各人ハ平等ニシテシマフ、斯ウ云フノガ即チ共產主義ノ窮極ニ行ク道デアリマス、デ其行ク道ガ色々ノ形ガアリマスカラ、學者ニ依ツテ説ヲ異ニシテ居リマス、只今ノ御質問ニモ段々アリマス、星島君ハ最も能クサウ云フコトハ御承知デゴザイマセウガ、經濟ノ議論ト云フモノハ、學者ノ見ル所ニ從ツテ違フ、ダカラ經濟論ヲ基礎ニシタル所ノ學説ヲ以テ法規ヲ

制定スルト云フコトハ、大體不可能デアル、サウス云フ譯デアリマシテ、此方面ニ於キマシテモ私有財産制度ヲ否認スルト斯ウ書イテ、其事ヲ實行シテ行ク者、是ハ矢張單純ノ目的、共產主義ヲ目的トシテ全然違フ行爲ヲ現ハセバ適用出來マス、第四條ノ如キハ共產主義ノ目的ヲ以テ犯罪ヲ成立スル、斯ウ云フコトニ對シテハ適用ガ出來マセヌ、斯ノ如ク共產主義中デ最モ極端ノ私有財産全部ヲ否定スル或ハ資本ヲ否定スル、所有權ノ根柢ヲ破壊スル、斯ウ云フ事ヲ實行スル者ダケヲ罰スル、是故ニ縮メテ申上ゲマスレバ無政府主義、共產主義ノ中最モ極端ノモノヲ之ニ依ツテ罰スル、第一條ノ文字ハ斯ウ見ル次第デアリマス

○星島委員 ハッキリ致サヌノデアリマスガ、サウシマス事ニ依リマスレバ內務大臣ニ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、説明ノ範圍ニ於キマシテ要スルニ無政府主義ニ致シマシテモ、共產主義ニ致シマシテモ、學説ハ色々ノ解釋スルガ、實行方法ノミヲ取締ルモノデアルト解釋シテ宜シイト思ヒマス、然ラバ例ヘバ無政府主義ト云フ言葉ハ是ハ言ヒ惡イカモ知レマセヌガ、一種ノ社會理想トシマシテ、是ハ吾ノ先輩ノ所謂自由民權トカ色々唱ヘテ居リマス、御互ガ強制カラ離レテ支配ヲ受ケタクナイ、詰リ理想ノ政治デモツトアリタイ、政治ヲモット發達サセタイ、斯ウ云フヤウナ極ク高イ社會理想トカ相互扶助ノヤウナ精神ヲ高調シマシテ、御互ノ社會生活ヲ政治生活、總テノ支配ト云フモノカラ離レタイ、強制ト云フモノカラ離レタイ、サウシテモット互ニ共存共榮ニナルヤウニシタイ、規則ヲ少クシテ行キタイト云フヤウナ、今日直接ニソレヲ實行スルト云フモノト、ズット駈ケ離レテ何萬年後ノ時代ニ理想ノ世界ヲ造リタイ、是ハ宗教團體或ハ學者ノ間ニハ度々起ル所ノ議論デアリマスルガ、サウ云フヤウナモノヲ極ク學術的ニ之ヲ分解シマスレバ、無政府主義ト言ハレルカモ知レマセヌ、サウ云フ程度ノ詰リ極ク遠キ將來ノ何萬年後ノ未來ノ理想ノ世界ヲ目標トシテ、何ト言ヒマスカ極樂淨土ト云フヤウナ遠イ、何萬年後ノ世界ヲ望ミ、今日直グ行フト云フコトヲ考ヘナイデ、研究シテ行クト云フヤウナモノニ付キマシテハ、別段政府トシマシテモ法文デ取締ルト云フ意味デナクシテ、單ニ今日直接ニ暴動カ革命ノ手段ニ依ツテヤラウト云フ者ノミヲ取締ル方針デアアル、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜シイト思ヒマスガ……

○若槻國務大臣 只今ノ御質問ハ法文ニ付テバアラウト思ヒマス、無政府主義トカ共產主義トカ云フモノガ今ノ中ニ入ルカ否ヤト云フ御質問デハナイカト思フノデアリマスガ、第一條ニ書イタル國體若クハ政體ヲ變革スルト云フコトハ、今御述ニナツタヤウナ社會連帶ナド、云フ觀念デ研究シテ行クト云フコトニハ關係ガナイカト云フ御尋デアラウト思ヒマスカラ、其意味ニ於テ御答スルノデアリマスガ、國體若クハ政體ノ變更ニ關係ナク、社會連帶デ御互ニ吾々ノ生活ニ關聯シテ居ルノデアラカラ、相互ニ相援ケ合ツテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ趣旨ヲ以テ研究シ主張シテ行ツタ所ガ、決シテソレハ國體ノ變革若クハ政體ノ變革ト云フコトニナラヌト思フノデアリマス

○星島委員 私ハ餘リ言葉ヲ抽象的ニ申シマシタガ、例ヘバ今日即時ニ之ヲ實現シヤウト致シマシテ、今日ノ法規ヲ廢シ、サウシテ今日ノ統治組織ヲ破壊シテ行カウト思ツテモ、當然ソレハ暴力以外ニハ行ハレナイ、又行フ筈ハナイノデアリマスガ、併ナガラ今ノ學者ナリ或ハ眞面目ナル研究者ガ、或ハ高イ理想ヲ以ツテソレヲ目標トシテサウシテ研究シテ行ク、政治ノ絕對自由ヲ目標トシテ行カウト云フヤウナ人ガ、今日ノ學者ノ間ニ存在シテ居ツテモ、法規デ取締ルコトハナイ、唯、現實ニ直接ニ直グ此處デサウ云フモノヲ實現シヤウト云フ革命手段以外ニハ、此法律デ取締ル方針デハナイ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカタ云フ意味ナンデス

○若槻國務大臣 甚ダ微妙ナ御質問デアリマシテ答辯スルコトニ困難ヲ感ジ

マスガ、其實行ナリ或ハ結社ノ場合デナケレバ、或ハ煽動ノ場合デナケレバ、問題デアリマセヌカラ、結社ヲスルカ實行ノ協議ヲスルカ或ハ煽動ヲスルト云フ場合デナケレバ、此法律ニハ關係シマセヌカラ、サウ云フ場合デアラウト思ヒマス、サウ云フ場合デアラウト言葉ハ支配下カラ自由ニナリタイト云フヤウナ哲理カラ出テ居ルカモ知レマセヌガ、萬世一系ノ皇室ヲ否認スルヤウナ意味デアリマセヌレバ、ソレハ此法律ニアル結社、實行ノ協議或ハ實行ノ煽動ヲスルト云フコトデアリマス、此法律ニ觸レルノデアリマス、ガ萬世一系ノ皇室ヲ奉戴シ、國體ヲ認メテ置イテ、而シテ社會連帶デ互ニ援助シ合ッテ行カウト云フヤウナモノナラバ、一向ソレハ差支ナイノデアリマス

○星島委員 其御答辯ハ私ハ満足スルノデアリマス、例ヘバ私ノ言フ意味ハ、モウ一ツ短ク言ヒマスレバ、日本ノ國體殊ニ皇室ヲ中心トシテ、皇室ハ道德ノ主源デアアル、其中心ノ下ニ總テノ者が規則バカリデナクシテ、サウシテ支配カラ離レテ丁度家庭ニ於ケル父母ヲ中心ニ家庭ガ平和ニナッテ行クト云フヤウナ心持ニ於テ總テヤッテ行ク、或ハ「クロボトキン」デモ決シテ直接ニ行動スルノデハナイ、數萬年後ノ理想ノ社會ヲ描イテ、ソレヲ實現化シテ居ル、日本ノ皇室ハ道德ノ中心デアアル、御互ニ之ヲ尊敬シ、總テガ圓滿ニ纏マルト

云フ、洵ニ穩健ナ日本ノ國體、國民トシテモ相應ハシイ、思想ヲ中心トシタル意味ニ於テモ、サウ云フヤウナ意味ノ社會ヲ描イテ色々ナ研究團體ヲ造ルト云フコトハ是ハ可能ナコトデアルト思フ、唯、内務大臣ノ御説明ノ如クンバ例ヘバ、私ハモット説明ノ仕方ガマヅイノデスガ、御互ニ無病息災デ何處マデ長壽シタイ、何千年マデモ生キテ居タイト思フガ、是ハ到底達セラレナイガ、斯ウ云フ無病息災デ百年以上モ生キタイト云フ意味デ研究會ヲ開ク、言葉ガマヅイガ、例ヘバ病院ハ人ノ病氣ヲ癒スケレドモ、病院ノ目的ハ何デアルカ、病氣ヲ癒スノデアルカラ、突詰メテ終局ニ現ハレル所ハ病院ヲ廢止スルノガ御互ノ希望デアルト云フヤウナ言葉ヲ吾ミハ得テ使フコトガアル、サウ云フ場合ニハ今日マデ新聞社ガソレニ觸レテ居ル例ガアルガ、本法ノ取締ラントスル範圍ハドウデアアルカ、實ニ日本ノ皇室ヲ中心ニシテ、サウシテ御互ニ煩ハシイ所ノ社會ノ一大支配權テフ勢力ガナクテ、理想ノ社會ニ住ミタイト云フコトヲ熱心ニ考ヘテ居ル宗教團體ヤ思想團體ガアツテモ、是ハ別段秘密結社トハ認メナイ、斯様ニ解釋シテ宜シイノデスカ

○若槻國務大臣 先刻申上ゲタ通り、此法律ハ何ノ目的デ結社ヲ組織シ、或ハ其事情ヲ知ツテ之ニ加入シタトキ、若クハ其實行ヲ協議シタトキ、實行ヲ

煽動シタトキ、實行スル爲ニ其犯罪ヲ煽動シタトキト云フヤウニ書イテアリマスカラ、今仰セニナルコトガ、結社ヲ結ンデ其目的ヲ達シヤウトスル所ニ當ルコトデアアルヤ否ヤ、或ハ其實行ヲ今協議スルト云フコトニ當ルコトデアアルヤ否ヤト云フコトデ、問題ガ定マリマスノデ、御質問ニナッタヤウナノハ、ドウモ其爲ニ結社ヲ組織シタトキ、或ハ其實行ヲ協議シタトキ、或ハ其實行ヲ煽動シタト云フコトニナラヌヤウニ思ヒマスカラ、此法律ニ當ラヌト私ハ御答シタノデアリマス、併シ今仰セニナルコトガ總テ現行ノ法規ノ下ニ於テハ制裁ナシニ、サウ云フコトガ出來得ルヤ否ヤト云フコトハ、私ハ答ヘタノデハアリマセヌ、法律ノ専門家デアリマセヌト他ノ法律ニ觸レルカモ知レマセヌ、唯、此提出シテアル法律案ニハ、伺ッタダケデハ觸レナイヤウデアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○星島委員 要スルニ今社會連帶トカ相互扶助ト云フコトヲ眞劍ニ考ヘテ居ル人達ノ結局スル所ノ進ムベキ極點ハ、言葉ハマヅイカモ知レマセヌガ、無政府主義、共產主義ト云フヤウナモノト傾向ヲ同ジウスル、詰リ今日ノ所謂政治的自由トカ、經濟的自由ノ方向ハドチラカト言ヘバ、此思想ト同ジ方向ニ在ル、唯、結局ノ目的ハ破壊ヲ以テ建直セヨト云フノデハナクシテ、實際今日ノ新シイ考ヘ方、必ズシモ社會連帶ノ思

想デナクトモ、或ハ産業組合トカ、色々今日ヤッテ居ル仕事デモ、ドウシテモ傾向カラ言ヘバ經濟的自由カラ一種ノ「コンミニズム」ニ行ク傾向ガアル、ソレカラ強力ノ壓迫ヨリ離レタ、モット自由ナ生活ヲシタイト云フヤウナ隱健ナ者デモ、傾向カラ言ヘバ無政府主義ノ傾向ト同ジク進ンデ行ク、是ハ段々サウナツテ行ク、是ハ今ノ御答辯ノ中デ察スルコトガ出來マシタカラ質問ハ止メテ置キマス、先程ノ政府委員ノ御説明デ、無政府主義ハ斯ウ云フヤウナモノト考ヘテ居ル、共產主義ハ斯ウ云フ風ニ、考ヘテ居ルト云フ風ニ、定ッテ御定説ハ今日ノ當局ニハ御考ガナイト心得テ宜シイカ、要スルニ此條項ニ舉ゲマシタモノヲ取締ルノデアアツテ、今日政府トシテハ無政府主義トハ斯ウ云フモノデアアルカラ斯ウスルノダト云フコトハナイト考ヘテ宜シウゴザイマス、ソレト今一ツ最近所謂口ヲ開ケバ社會主義者ガ跋扈シテ居ルト、隨分吾々脅カサレタガ、今回ノ御説明ノ中ニモ社會主義ト云フモノニ付テ御觸レニナツテ居ル、所謂社會主義ニハ隨分種類モアツテ、ソレデ十分ノ御話ガ出來ヌト思ヒマスガ、大體無政府主義、所謂共產主義ト云フモノヲ取締ルノガ今日最モ緊急デアツテ政府ニ於テハ極ク最近デアリマスケレドモ、社會主義ト云ヘバ非常ニ惡イモノト思ハレテ居タ今日ノ場合ニ於テハ所謂國家社會主義程度、或ハ「ギルド」、ソシアリズ

ム」程度ノモノハ、其方ハ著々進歩シ參ッテ居リマスカラ、斯ウ云フ方面ニ付テハサウ峻嚴ニ取締ル必要ハナイト思フガ、其點ヲ伺ヒマス

○若槻國務大臣 社會主義ト云フノハ、星島君ガ共產主義或ハ無政府主義デ法理論ヲ推シテオキデニナルト、中々限界ガ明瞭デナイ如ク、社會主義ト云フコトモ世俗ノ言フ社會主義ト云フノハ、私共ニハ常識デ凡ソ考ヘテ居リマスケレドモ、ハッキリ之ヲ法律的ニ言ッたらバ、何處マデノモノガ社會主義デ、ドウ云フモノガ社會主義デナイト云フコトガ明確デナイト思ヒマス、隨テ社會主義ニ對シテハ大シタ政府ハ取締ル考ガナイカドウカト云フ御質問ニ對シテハ、一寸御答辯申上グルコトガ甚ダ困難デアリマス、事柄ニ依リマスト云フト、或ハ此法律案ニハ觸レナイカモ知レマセヌガ、新聞紙法ニハ觸レルトカ、或ハ出版法ニ觸レル、治安維持法ニ觸レルトカ云フモノニナルカモ知レマセヌ、ドウモソレハ其主張ヲスル人ノ言フドウ云フコトヲ言ッテ居ルカ、ドウ云フコトヲ爲サムトシテ居ルカト云フコトヲ見マセヌケレバ、ハッキリ是ハ自由放任デ何モ取締ヲ加ヘヌト云フコトヲ此處デ斷言仕兼ネルノデアリマス

○星島委員 御尤ト思ヒマスガ、唯々大體國家主義者トカ「ギルド」社會主義ト云フモノデアレバ、大體ノ範圍ガ限定サレテ居ルト思ヒマス、ソレニ付テハ

サウ取締ラヌデモ、政府ニ於テモ一部分サウ云フ傾向ノモノニ付テハ實行シツ、アルカラ、極端ニ取締ル必要ハナイト云フノデ、法案ニ付テ明示サレナカッタト云フ風ニ解釋シテ宜イデスカ

○若槻國務大臣 法文ハ先程專門家ノ法律家カラ説明致シマシタ通り、社會主義トカ、無政府主義トカ、共產主義トカト云フコトヲ書クコトガ曖昧デアアル爲ニ、モウハッキリト他ノ意味ニ變ヘラレヌヤウナ文字ヲ用キタノデアリマスカラ、其文字以外ノモノハ此法律ニハ全然關係ガナイト云フコトヲ明言シテ宜シイノデアリマス、他ノ法規ニ觸レルヤ否ヤハ此處デ明言スル限デハアリマセヌ

○星島委員 今一ツ內務大臣ニ向ッテ御尋致シタイノデアリマス、先般委員會ニ於テ小川司法大臣ト委員會間ニ質問應答ガアッタノデアリマスガ、ソレハ共產主義ガ起ッテ、私有財産制度ノ否認ト云フコトニ付テ、個々ノ場合ノ御話ガアッタノデアリマス、鐵道ノ國有、土地ノ國有ト云フモノハ、ドウダト云フコトニ對シテノ説明ガ、ドウモ徹底シテ居ラナイノデアリマス、又本會議デ若槻內務大臣ノ御答ガアリマシタガ、土地國有ナラバ個々ノ場合宜シイ、鐵道ノ國有モ宜シイト云フコトデアッタ、若シ範圍ヲ廣メマシテ土地、地中埋藏物、森林、交通機關、飛行機、サウ云フモノヲ總括シテ斯ウ云フ物ハ國有トスル、後

ノ私有財産ハ認メル、斯ウ云フ主張ノ政治團體ガ出來タ場合ハ本法ノ規定ニ觸レマセヌカ

○若槻國務大臣 個々ニ付テ國有ニシロト云フヤウナコトハ、此法ニ這入ラヌト解シテ居ルノデアリマス、個々ト言ヒマシテモ土地ハ國有ニスル、森林ハ國有ニスル、鑛山ハ國有ニスル、ソレヲ澤山並ベテソレヲ綜合シテ考ヘテ見ルト、殆ド私有財産ハ認メナイ、假令舉ゲル所ハ個々デアリマシテモ、ソレハ私有財産制度ノ否認デアルト見ナケレバナラス、ソレナラバ何處マデ言ッたら私有財産制度ノ否認ニナツテ、何處マデ言ッたらソレハサウデナイト云フコトハ、是ハ裁判官ノ見所ニ委スノ外ハナイト思ヒマス、原則トシテ申セバ、土地ハ國有ニスルトカ、鐵道ハ國有ニスルトカ云フノハ、一ツニハサウシタ方ガ其方ガ良クナルト云フ意見デ致シタノデアリマスカラ、ソレハ一向構ハナイト思ヒマス、今日ノ私有財産ヲ否認スル、ソレハ表面カラ云フト、一ツヅ、ヲ舉ゲテ、是モヤレ、是モヤレト言フノデアアルガ、裏面カラ言フト事實ハ私有財産ノ否認ニナルヤウニシヤウ云フナラバ、ソレガ個々ニ舉ゲテ言ウテモ、私有財産制度ノ否認ト言ハナケレバナラス、何處マデソレニナツテ何處マデソレニナラヌカト云フコトハ、是ハ其場合ニ裁判官ノ認定ニ委ス外ハナイト思ヒマス

○星島委員 此委員會ニ於テ小川司法大臣ノ御答辯ニハ國有或ハ公有ヲ唱ヘテ、若シ國家ガ賠償スルト云フコトナラバ宜シイト云フ御答辯デアッタノデアリマス、現ニ都市計畫法ニ於テ一割ダケハ無償デ法律デ取ッテシマフト云フコトニナツテ居ル、ドウモ其範圍ガハッキリシナイノデアリマス、具體的ニ今申シマシタ土地、地中埋藏物、森林、一般交通鐵道機關、飛行機、是ダケハ國有ニスル、其他ノモノハ私有デ宜シイ、斯ウ云フ程度ノモノヲ以テマシテ、一ツノ政黨ヲ造リ標榜シタ場合ハドウスルカ

○若槻國務大臣 御質問ハ多分之ヲ國有ニスルガ爲ニ個人ニ向ッテ賠償スルト云フコトデアアラウト思ヒマス、ソレナラバ賠償ト云フ私有財産ノ觀念ヲ持ッテ居リマスカラ差支ナイト思ヒマス

○星島委員 既ニ日本ニ於テモ賠償デナクシテ、都市計畫法ノ如キ當然所有權ノ絕對制ヲ否認シテ居ルカラ、單ナル賠償ト云フ意味ヲ含マナイデ、今ノヤウナ五ツ位ノ國有トスベシト云フコトヲ以テ、政黨ノ主義主張ト致シマシタナラバ本法ニ觸レハセヌカ、斯ウ云フ譯デアリマス

○若槻國務大臣 東京ノ土地區劃整理デ一割ヲ提供セシムルト云フ事柄ト、土地ヲ全部國ニ沒收シテシマフト云フ事柄ハ、餘程相違ガアルト思ヒマス、今仰セニナル土地ヲ國有ニスル、ソレダ

ケニハ賠償ヲスルト云フナラバ、少シモ差支ナイト思ヒマス、サウデナクシテ、土地モ山林モ鑛山モ沒收シテシマヒ、賠償モシナイト云フヤリ方デアルト、ソレハ即チ私有財産制度ノ否認ニナルト思フノデアリマス、其處ハドウモ程度ノ問題デアルト思フ

○星島委員 賠償云々ト云フコトハ、私ノ伺フ根本デハナイノデアリマス、唯、私ガ例示シマシタ五ツノモノハ、賠償スレバ宜イトシテモ、併シ賠償シナイデ他ニ穩當ナ方法ガアルカモ知レヌ例ヘバ現在使用收益シテ居ル所ノ果實ヲ與ヘルト云フコトニナレバ、現在ト同ジコトニナル、是等ノ五ツヲ將來國有ニスベシ、而シテソレガ其時ノ財産上ニ大變動ヲ及ボサヌ範圍ニ於テ、斯ウ云フモノヲ國有ニスベシト云フコトナラバ、本法ニ觸レナイノデアルカ

○山岡政府委員 內務大臣カラ申上ゲタコトヲ一言敷衍致スダケデアル、星島君ノ御尋ハ理想ト現實ガドウモ一緒ニナツテ居ルヤウニ思フ、理想論ト致シマスレバ、遠キ將來サウナルト云フコトヲ考ヘテモ、差支ナイコトデアル、併シ將來輿論ノ傾向ガドウカト云フコトモ、是モ豫測出來マセヌ、而シテ輿論ガ國民ノ總テノ意思、法ハ即チ國民ノ總意デアリマス、サウ云フ風ニナツテ來レバ、妥當性適法性ヲ生ズル、法律ニハドウ書イテアツテモ、適法性ヲ生ズルノデアリマス、刑法ノ見方、是ハ私ガ申サナ

イデモ既ニ御承知ノコトデアル、不法性ヲ現スニ二ツノ形チガアル、犯罪ヲ成立セシムルニ積極的不法性ヲ現ハス場合ト、消極的ニ現ハス場合トアリマス、消極的ニ現ハス場合ハ不法ガ明文ニ現ハレテ居リマセヌ、ソレデアリマス、形カラ言ヘバ一旦犯罪ヲ成立シテ、ソレガ總則ノ規定ノ妥當性ニ依テ消滅スルノデアリマス、國民ノ輿論ガ段々變テ來マシテ、將來サウ云フコトガ國民ノ輿論トナツテ妥當性ヲ生ズレバ、正當行爲トナツテシマフ、ソレ故ニ將來何年或ハ何百年デモ宜シイノデアリマス、五十年デモ宜カラウト思ヒマス、其頃ニ至ツテ妥當性ヲ生ジテ來レバ來ルダケ、此法律ノ適用ガ制限サレテ來ル、今日法ハ現實ニ適用スル、今日ノ社會ニ現實ニ法律ヲ適用スルコトニナルト、所有權ヲ賠償セズシテ取上ゲルト

言フコトハ、所有權ノ本能ヲ失フ譯デアル、ソレニ似寄ツタ方法ニ依ツテ損害ナク行ク方法ガ段々考ヘラレルノデハナイカ、其損害ナキ方法ガ即チ賠償ノ意味ヲ持ツテ來テ、所有權ノ根柢ガ崩レナイ方法ガアレバ、只今一寸御説明ニナツタノハ、事實ト見テ取ルト云フコト、斯ウ言ウテ見テモ其所有權ハ使用、收益處分デアルコトハ御承知ノ通りデ、使用權ダケアツテモ、所有權デハナイ、收益ダケアツテモ所有權デハナイ、處分權ガ大事デアル、其處分權ヲ失ツタナラバ所有權デハナイ、斯ウ云フコトニナ

ラナケレバナラヌト思ヒマス、唯、附加ヘテ申シマスガ、其地方ニ於ケル土地ヲ舉ゲテ一村ノ有ニシテシマフ、斯ウ言ツタコトハ、共有權ニナリマスカラ、本法ノ關スルコトデハナイ、國家全體トシテ見タ所ニ於テ、處分權ヲ否定シテシマヘバ所有權ヲ否定スルト云フコトニナルト思ヒマス

○星島委員 ドウモ私ノ言葉ガ惡イ爲カ……私ハ國有、若クハ組合有、一種ノ「コーポレーション」デアリマス、先ニ五ツノ例ヲ示シマシタガ、サウ云フコトヲ國有ヲ止メテ組合有ニスルト言フ議論ハドウデアリマスカ、具體的ニ伺ヒマスガ……

○山岡政府委員 組合有ニシテ、權力ヲ以テ組合ニ歸屬セシムルト云フコトニシテモ、處分權ノ關係ヲ認メナイデ歸屬セシムルトイケナイ、所有權ノ處分關係ヲ認メテ歸屬セシムルナラバ差支ナイ

○前田委員長 星島君、一寸關聯シテ居ルコトデ、私質問シタイノデスガ、御許シテ願ヒタイノデス——山岡君ニ御尋致シマスガ、刑法總則ニ依ルト、刑罰法規ノ適用ハアリマスガ、此規定ハ刑法總則ニ關係ガアリマスカ「イエス」カ「ノー」デ宜シイノデス

規定ガアリマスガ、人民ハ議會ニ請願スル權利及ビ議員ハ建議案、法案ヲ提出スル權能ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、議會ヲ通ジテ根本的ニ私有財産制度ヲ否認セントスル行爲ハ、刑法ニ依テ無罪デアリマスカドウデアリマスカ

○山岡政府委員 職務行爲、法律ノ許ス行爲デアリマス、總テ正當デアリマス、尙ホ刑法ノ總則ニ附加ヘテ申シマスガ、彼所ニ直接書イテナクテモ、正當ナルモノハ犯罪トナルコトハアリマセヌ

○前田委員長 今ノ御答ニ依リマス、議會ヲ通ジタル請願、即チ議員ノ權能ニ關スル事柄ハ法令ノ認ムル所デアリマスカラ、無罪ト承知シテ宜シイノデアリマスカ

ノ結社ヲ作ルト云フコトニナレバ、其人達ハ別段職權ハナイノデアリマス、サウ云フ問題ニ對シテ犯罪ニナルト云フ御答ガアツタコト、私ハ解釋致シテ居ルノデアリマス

○前田委員長 然ラバ矢張其問題デアリマスガ、山岡政府委員ノ説明ト國務大臣ノ説明ハ私共ノ常識判斷ニ依レバドウモ矛盾シテ居ルヤウナ點ガアリハセヌカト思ヒマス、本案ノ審査ノ上ニ於テ重大ナコトデアリマスカラ、政府ニ於テハ能ク御協議ナサレテ、統一セル、徹底セル答辯ヲ煩シタイト思ヒマス午後ハ一時半カラ開會シマス、是デ休憩致シマス

午後零時六分休憩ノ儘散會